

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名 ：一般国道275号 蕨岱 拡幅	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：国土交通省 北海道開発局
起終点 ：自：北海道江別市篠津 至：北海道石狩郡当別町 蕨岱	延長 ：3.3 km	
事業概要 ：一般国道275号は、北海道の中核都市である札幌市を起点に、当別町、幌加内町を經由し浜頓別町に至る延長約28.2 kmの幹線道路であり、道央圏と道北圏を連絡する重要な路線である。このうち蕨岱拡幅は交通混雑の緩和や冬期の吹雪対策を行うことにより日常活動圏中心都市へのアクセス向上・物流の効率化・地域プロジェクトの支援などに寄与することを目的とした、延長3.3 kmの2次改築事業である。		
H元年度事業化 ： H - 年度都市計画決定 H 1 1 年度用地着手 H 1 2 年度工事着手		
全体事業費 ： 約5.3億円 事業進捗率 ： 5.6% 供用済延長 ： 0 km		
計画交通量 ： 29,400台/日		
費用対効果分析結果	B / C ： (事業全体) 3.8 (残事業) 9.4	総費用 ： (残事業)/(事業全体) 1.6/3.9億円 事業費 ： 16/39億円 維持管理費 ： 0/0億円
		総便益 ： (残事業)/(事業全体) 1.49/1.49億円 走行時間短縮便益 ： 141/141億円 走行費用減少便益 ： 4/4億円 交通事故減少便益 ： 4/4億円
基準年 ：平成15年		
感度分析の結果 ：事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.2 (交通量+10%) B/C=3.4 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.5 (事業費+10%) B/C=4.2 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C=3.3 (事業期間+20%) B/C=4.3 (事業期間-20%)		
事業の効果等 ： <ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（年間渋滞損失時間の削減が期待される） ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市（札幌市）へのアクセス向上が見込まれる） <div style="text-align: right;">他8項目に該当</div>		
関係する地方公共団体等の意見 ：江別市を始めとする関係6市1町3村の首町で構成される北海道石狩地方開発促進期成会より、毎年事業促進の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ： <ul style="list-style-type: none"> ・平成14年4月に北海道医療大学に新学部が設立される。 ・平成15年3月に当別バイパスが供用開始され、当事業区間と接続された。 		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ：全線にわたり工事着手しており、事業進捗率は5.6%である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ：引き続き用地取得が順調に進めば、平成19年度頃に全線供用の予定である。		
施設の構造や工法の変更等 ：再生材の活用、深層混合処理工法における改良長の見直し等によりコスト縮減を図っている。		
対応方針 ：事業継続		
対応方針決定の理由 ：以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 ： <div style="text-align: center;"> </div>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。